2019年

http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu

あたらしい なかまを しょうかい します





ダオ ゴック ホン (ベトナム)



グェン レン トゥアン (ベトナム)



ディアン アリ プトラ (インドネシア)



ラマ ドニ (インドネシア)

を持って行為を行っておく」ことを表す。

「風でドアがあいている」とはいえても、「風でドアがあけてあ

てある」「電気が消してある」などの他動詞+「てある」は、目的

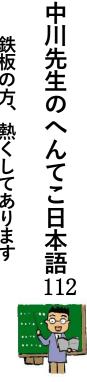
「ている」は、行為の結果が残存していることを表し、「窓があけ



ジャン ポン シャ (中国)

鉄板の方、熱くしてあります

ではなく)しておいた。 笑しながら「留学生?」と確認し、初級半ばあたりの習得がう ろがそこは日本語教師。発音から外国人だと分かったので、苦 思わず立ち上がって、「なんでやねん?」と言いたくなった。とこ まく進んでいないのだろうと判断し、教師根性から講義(抗議 鉄板の方、熱くしてありますのでご注意ください」というので つまり「窓があいている」「電気が消えている」などの自動詞+ レストランで鉄板料理を注文した。運んできた店員さんが



ればならなくなる。 熱くした」ことになり、 - 熱くしてある」は、お客さんに危害を与えるために、意識 、お客さんを怒らせてしまう。

うが、「かぎが壊してある」なら、すぐ 110番に電話をかけなけ

「鍵が壊れている」なら、自然の成り行きで「壊れた」のであろ

ある」には話し手の意志が関与することになる。

が、「暑いのでドアがあけてある」なら可能である。つまり「~て る」とはいえない。反対に「暑いのでドアがあいている」とはいえない

じることも多くなる。腹立たしく思う気持ちも分かるが、そこ 会もますます増えるであろう。その日本語に不可思議さを感 今後レストランやコンビニなどで外国人の店員さんに接する機

京都外国語大学 日本語学科教授 中川 良 雄 はあまり熱くならないでいたいものだ。

「草津街あかり」でボランティアをした感想張意画

大学の友達に誘われて、11月2日に草津街あかりのボランティア活動に参加しました。立命館大学では、授業の一環として、学生たちが草津街あかりの一部のイベント担当になっております。その学生さんがまつりのボランティア募集を校内で行っていました。私は友達と一緒にそれにエントリーして、当日はクイズラリーの手伝いに行きました。

草津街あかりはすごくきれいで、楽しいイベントでした。当日は夕方からやや冷えていましたが、あかりが照らしているところならば、人々の暖かく楽しい気持ちが溢れていました。クイズラリーの参加状況もすごく賑やかなもので、2歳の可愛い赤子から少し年を取っているお爺さんまで参加いただきました。そして、どなたでも楽しく草津について勉強できるように、わざわざ子供用と大人用2種類の問題を用意して、特に大人用の問題では、歴史から地理まで幅広い知識が含まれていますので、私にとってもすごくいい勉強になりました。



やや冷えている夜風の中で、同じ問題を何度も何度も繰り返して、ひたすら人の対応をするのが私の 仕事ですが、当時は全然疲れを感じませんでした。なぜなら参加者の皆さん一人一人が頭を抱えてクイ ズに悩んで、最後たとえ答えが間違えましたとしても楽しく笑っている姿がとても暖かい光景だから。 皆さん一人一人感謝の言葉こそ最高のご褒美だと思います。

アフリカの中のアジア、マダガスカル



(レポート:遠藤)



首都アンタナナリボで3年間仕事をすることになった友人を 訪ねて、8月にマダガスカルに行ってきました。

さて、マダガスカルはアフリカの右横にある島です。地図で見たら南アフリカから近そうなので、ついでにケープタウンの友だちのところにも寄ろうかと思って調べてみたら3000kmも離れていて断念しました。いやぁ、アフリカ大陸はスケールが違う!

マダガスカルの面積も日本の1.6倍の大きさ。でも人口は2626万人(2018年)と少なめです。現在は焼畑をしすぎて森林が減った結果、人や動物が住める場所が減っています。



首都とその周辺に住んでいる人たちの先祖は5世紀頃にマレーやインドネシアから交易にやってきた商人たちなんだそうです。だからマダガスカル語はインドネシア語の系統に属していま

す(挨拶は「サラマ!」)。人々の顔つきも、ちょっと色が濃いアジア系。性格は穏やかで、大声で話したりしません (関西人の友人は「声が大きい」と同僚からよく言われるらしい)。毎日道路は大渋滞だけどイライラしたり、怒ったりしません。狭い道で対向車同士動けなくなったら話し合いをして、悪路では性能がいい車の方が脇に除けて道を譲ることも結構ありました。

友人によると物事をはっきり言うのを遠慮する文化があるので、かなり親しくなるまでなかなか本音を聞かせてくれないのだとか。なんだか昔の日本人みたいなところがあります。



また外国人だからと言ってあまりボラない。一部観光客相手の市場のボリようは酷いですが、マダガスカル人も行くような店なら、どこでも定価販売。そのかわり値引きもなし。ただし乗り物は、ちゃんと交渉しないとボラれます。バスもありますが、首都以外の街では、アジアの街角で見なれた三輪車が走っていて、ここでも「トゥクトゥク」と呼ばれています。ちなみに人力車は「プスプス」。

フランスに支配されていたので、町には美味しいクロワッサンを売るパン屋もあるのですが、一般の人たちの主食は米や麺。田舎に行けば米の段々畑があるし、緑の畑の中でゼブ牛(アジア由来のコブ牛)たちが悠々と草を食んでいたりして、見ていると自分がアフリカではなくアジアにいるような気がしてきます。



マダガスカルは途上国なのですが、公用語がフランス語なので今もフランス人が移住してきてレストランやカフェ を経営しています。なので食のレベルが高い!脂ののったゼブ牛のコブの焼肉は大人気だし、海の近くに行けば新鮮 なシーフードが食べられるし、フォアグラも生産しているし、マダガスカルは実はグルメの国だった!

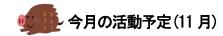
↓アンタナナリボで人気のビュッフェランチが楽しめるレストラン



また素晴らしいのは、ペットボトルよりもガラス瓶が主流で、スーパーでもプラスチックバッグはくれないので皆ヤシの繊維で作った大きな買い物カゴを持って買物にくること。だから道端にプラスチックゴミが散乱したりしていません。こういうところをもっと世界にアピールしていったらいいのに…政府は自然環境を守るより金融を発展させたいようです。十年後ありきたりな残念な途上国になっていないよう祈るばかりです。



日本語教室 10/5(M),19,26(3回) オリーブ遠足下見 10/13(日)(内田、恩地、後藤) 立命館大ボランティア体験受け入れ 10/19(土) まちセン全体会 10/21(月)(内田千)



日本語教室 11/2(M), 16, 23 (3 回) オリーブバス遠足 11/24 (日) BNN運営委員会 まちセン施設部会 11/18 (月)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング

● () 内は参加者または 参加予定者。敬称略

参加人数(10月)

	10/5	10/19	10/26	
生徒	45	38	42	
先生	23	23	24	

会員の動き(10月)

〈退会〉 なし 〈入会〉

新しく入会された先生です

張 意涵さん

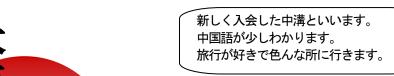
入場無料

立命館大学経済学部の留学生です。学生 コーディネーターの活動中でいろいろお 世話になりました。これからもよろしく お願いします。





お知らせ





画

事前申込不要

日 時 12月20日(金) 15:40~17:10 会 場 京都外国語大学 171教室

講師
金田一秀穂氏(杏林大学外国語学部教授)

◆ 2019年度京都外国語大学大学院主催 第1回公開講演会 ◆

編集後記:

気づけば12月も目前。1年が経つのは早いですね。「師走」の名の通り忙しさが増すことを思うと、お知らせ欄にある金田一さんの講演会に行く時間があるのだろうかと、心配になってしまいます。(yg)